

# スマホのリスクを実体験から学ぶ ～新篠津プロジェクトK～

北海道新篠津高等養護学校 学級数 18 (校長 立田 俊治)

## □ 実践の概要

見学旅行の機会を活用し、スマートフォンの使い方などの学習を行った。事前学習で、見学旅行にスマートフォンを持参することで想定される様々なリスク等を生徒同士で話し合った後、実際に見学旅行でスマートフォンを使用し、事後学習で振り返るといった一連の学習を通して、生徒が実体験から学べるよう取り組んだ。

### 1 実践の目的

見学旅行におけるスマートフォンの使い方などに関する話し合いを通して、自分と他者の意見や考え方を比較したり、自分だけでは気付くことが難しい気づきを得たりしながら、考えを広げたり深めたりする。

### 2 実践内容

#### (1) 実施計画 (全 10 時数)

1/31	自分たちのスマホの使い方について考える (1h)
2/ 6	見学旅行にスマホを持っていった方が良いか? メリット、デメリット (2h)
2/14	見学旅行にスマホを持っていくならどんなルールが必要か? (3h)
3/ 3	服装どうする? (2h)
3/ 7	見学旅行の日程と内容 (1h)
3/23	まとめ【自主自律の見学旅行にするために】 (1h)

#### (2) 取組の具体

生徒に話し合いのテーマを提示し、生徒同士が課題解決に向けて話し合うことで、見学旅行でのスマートフォンの使い方などのルールを導き出していくよう授業を行った。話し合いを行う際は、各自のタブレット端末から Google forms のアンケートを回答させることで、生徒一人一人の意見を一覧で表示したり、グラフ等で可視化したりすることができ、生徒全員が自分の意見や考えを伝えることができる環境を設定した。

#### (3) 取組後の点検・評価、工夫改善

Google forms を活用することで、生徒の意見を集約する作業が簡素化し、生徒一人一人の意見が把握しやすくなった。また、生徒にとっても自分の意見が反映される実感をもてたことで、積極的に話し合いに参加するなど学習意欲の向上が見られた。

#### (4) 改善後の取組

話し合いの際に回答したアンケートの結果を廊下等に掲示し、日常的に生徒が確認できるようにしたことで、自分や他者の意見を見直す様子が見られ、話し合いの過程や結果を振り返る機会となった。



【事後のアンケート結果をみんなで共有】

### 3 実践のポイント

話し合いでは、「少数意見を大切にすること」、「多数決で決めるのではなく、みんなが納得できるようにすること」が大切であることを伝えた。また、教師は見守りや記録に徹したことや、教師の説明する時間を授業全体の2割程度にしたことで、生徒同士の話し合いの時間が確保され、生徒一人一人の意見や考えを全体で共有することにつながった。